

本線、高野沿線住民諸氏

一般公衆各位

六

南海沿線住民及乗客諸君に告ぐ

關西の電鐵王國南海鐵道株式會社は、大阪和歌山市間唯一の交通機關を獨占してゐるを好餌とし公共事業の美名に隠れて沿道住民諸君及一般乗客の便利を無視したる設備を以て、不常な利益を貪りつゝある事は、既に社會的に熟知されてゐる事實である、公共的事業の本質を離れて、利慾の奴隸たる會社は只黄金の蓄積に及々として沿道住民の日常生活に最も關係の深い電燈料の如きは、建設費用云々を口實にして、他會社よりか高價な料金を徴收して、重役及其番犬共の私服を肥してゐる如きは實に許す事の出来ない事實である、私達が正義の戦ひを布告するや周章狼狽して、突如電燈料引下げのビラを撒布して、沿道住民の歡心を買はんとする如きは、當然値下けで得べき料金なれば、なぜ早く實行しなかつたかこれに依つて今まで不常な料金を貪つてゐた事を證明する又沿道の住民の生命を安全に期す處の、必然の義務である踏切の設備の不完全に依り、幾多の貴重な生命を無くしてゐる事は、幾多の悲惨な事故發生に依つて御承知であると思ふ。

斯の如き暴虐な會社の下に働く處の私達従業員は、今回の罷業は會社から挑戦された止む得ない結果であつて

一般乗客諸君の御迷惑は、罷業員たる吾々として誠に申譯なき次第であります、今回の止む得ざる争議の真相の諒察の上、會社側の暴壓に對して、共に一日も早く争議解決の爲に努力されん事を御願ひします。

沿道の住民諸君!!

一般の乗客諸君!!

願はくば争議團を援助されん事を。

又諸君の當然の要求を南海會社當局になげつけられん事を。

吾々は決してブル新聞の報道記事の偽瞞にまぎわされぬ事を。

昭和二年十一月

争議團 本 部 南 海 同 志 會

南海電車ストライキ追想

上 野 孤 舟

南海鐵道當局の（最高幹部の野心を満さんが爲の下劣極りなき彈壓的警告）に對し、我々は自からの階級擁護の爲に之に對策を構すべく七月七日大阪鐵道沿線汐の宮に於て擴大幹事會を開催せんしせしに、如何なる爲にか會

七